

盛岡市クリーンセンター

公害防止対策協議会だより

公害防止対策協議会事務局
(盛岡市クリーンセンター内)

連絡先 : (019)663-7153

平成29年3月 37号

今回の協議会だよりでは、協議会及び公害監視委員会の会議内容、台風10号被災自治体へのごみ処理支援、クリーンセンター風向風速計の不具合、平成28年度調査研究事業及び平成28年度上半期環境モニタリング結果についてお知らせします。

公害防止対策協議会の会議内容

第66回(平成29年1月26日)

- 平成28年度上半期環境モニタリング結果について
- クリーンセンター風向風速計の不具合について
- 平成28年度調査研究事業について
- ごみ焼却運転管理業務委託の受注者について
- 台風10号被災自治体へのごみ処理支援について
- 飛灰及び主灰中重金属類溶出試験結果について
- 盛岡市一般廃棄物処理基本計画について
- 県央ブロックごみ処理施設整備候補地検討状況等について

公害監視委員会の会議内容

第43回(平成28年12月1日)

- 平成28年度上半期環境モニタリング結果について
- クリーンセンター風向風速計の不具合について
- 一酸化炭素濃度ピークの発生状況について
- 飛灰及び主灰中重金属類溶出試験結果について
- 平成29年度プラント設備改修工事について

台風10号被災自治体へのごみ処理支援について

平成28年8月30日岩手県に上陸した台風10号による大雨被害で国道340号等が通行止めとなったことから、岩泉町及び宮古市から盛岡市に対して家庭ごみ等の受け入れ支援要請がありました。これを受け、可燃ごみについては、協議会の了承をいただいたうえクリーンセンターでの焼却処理を行いました。受入期間は9月6日から9月12日まで、受入量は計31,770kgとなりました。

クリーンセンター風向風速計の不具合について

クリーンセンター屋上に設置している風向風速計を平成28年10月6日に点検したところ風向計に不具合が確認されました。風向きを電気信号に変換する部品が故障し正しく風向を計測できなくなったものです。

現在、部品を取り外し修理中ですが、2月中旬には正常に計測できるようになる予定です。また、故障が発生した時期と思われる平成28年9月以降のデータの取扱いについては、次回公害監視委員会で協議のうえ決定します。

平成28年度調査研究事業について

1 視察日 平成28年10月28日(金)

2 視察目的

一関地区における資源ごみリサイクル工場及びリサイクル体験施設を視察し、当地区の分別リサイクルの現状と体験学習等の取組みについて紹介してもらうほか、県南ブロックのごみ処理広域化の進捗状況について確認する。また、県内初の小型家電リサイクル認定工場を視察することにより、廃棄家電リサイクル事業の今後の可能性と課題を探る。

3 視察先

- ニッコー・ファインメック㈱（一関市千厩町）
- 一関清掃センターリサイクルプラザ（一関市狐禅寺）

4 視察内容

ア ニッコー・ファインメック㈱について

(1) 小型家電再資源化事業所について

小型家電リサイクル法の認定事業者とは、これまで燃えないごみや粗大ごみとして捨てられ、多くが埋め立て処分とされていた電子機器を適正に処理できる業者を経済産業省と環境省が認定し、自治体の許認可の枠を超えて広域的に収集することを認められた事業所のことである。

(2) 対象品目について

対象は100品目以上あり、携帯電話、ゲーム機、ビデオ、カメラ、リモコンなど家の中にある家電製品のほとんどが国からリサイクル対象製品として指定された。ただし、家電リサイクル法対象のテレビ、エアコン、洗濯機及び冷蔵庫の4品目は除く。

(3) 個人情報管理について

パソコンや携帯電話などの個人情報が含まれる情報機器は、専用保管庫で二重の施錠をして保管されている。保管場所と選別作業現場は、監視カメラで24時間連続監視を行っている。情報が含まれるHDDは専用破壊機で4箇所の穴を開けて破壊し、素材のアルミとレアアースのネオジウムが精錬業者により溶解処理のうえリサイクルされている。

(4) センサー選別について

カラーラインカメラとメタルセンサーを導入した高精度センサー選別機で、破碎後の混在物を素材ごとに認識しエアで打ち落とすことにより選別を行っている。プラスチックも選別可能で、再生プラスチック製品としてマテリアルリサイクルされているものもある。破碎後の混在物を手作業で選別するには相当な時間と人員を要するが、これを自動ライン化することにより選別作業の高速化、省力化を図っている。

(5) 回収ルートについて

東北地方は、土地面積が広く人口密度は低いため、回収品運搬コストが大きくなるという問題がある。しかし、ニッコー・ファインメック社では、東北6県において以前より確立している医療系廃棄物等の回収ルートを活用して、効率的な小型家電の引取りを可能としている。



ニッコー・ファインメック破碎室



ニッコー・ファインメック小型家電選別室



ニッコー・ファインメックセンサー選別機

(6) 貴金属の精製回収について

含有率の高いCPUやメモリから金及び銀を回収し、99.99%の品位で貴金属地金商社に納めている。高額な貴金属を回収することにより業績の向上が図られている。

イ 一関地区におけるごみ処理広域化について（質問と回答）

(1) 新焼却施設はどこに建設する予定か。

⇒ 現在一関清掃センターがある狐禅寺地区で提案している。

(2) どのようにして建設場所を決定する予定か。

⇒ 狐禅寺地区で提案している中で、申し入れがあった場所がある。しかし、その場所が適地なのか今後調査する必要がある。

(3) 2箇所の焼却施設を1箇所に集約するにあたり、収集について検討していることはあるか。

⇒ 収集運搬距離が増えるので、中継施設などについて検討している。

(4) 一関市内で収集方法に違いはあるか。

⇒ 運搬する車がパッカー車かそうでないかの違いはあるが、分別については統一されている。

(5) 合併に伴い分別方法について見直したか。

⇒ 完全に一致しないまでも、極力統一できるように努力した経緯がある。

(6) 収集は委託で行っているのか。また、エリアごとに収集しているのか。

⇒ 委託で収集し、エリアごとに行っている。

(7) 新焼却場はいつ頃稼働する予定で考えているか。

⇒ 当初の計画では平成33年に稼働する予定で提案したが、日程的に難しくなっている。

(8) 現在の施設を建設するにあたり、地元還元施設を造る検討はしなかったか。

⇒ 余熱利用施設等を検討したが、焼却熱量等の関係から断念したようである。



一関清掃センター会議室



一関清掃センターリサイクルプラザ工芸室



一関清掃センターリサイクルプラザ
リサイクル品販売コーナー

ウ 一関清掃センターリサイクルプラザについて

工芸室では、ガラス工芸やリサイクル手芸などが手軽に体験できるようになっていた。また、再生工房室では、粗大ごみの中でまだまだ使用できそうなものを修理し、年5回開催される再生品抽選会で販売しているとのことであった。再生品は、どれも修理がきちんと施されており、販売価格も大人用自転車で2千円程度と大変お買得価格に設定されていた。

5 まとめ

ニッコー・ファインメック社では、相当量の小型家電を再資源化するための設備が整っているが、回収量がかなり不足している状況であった。盛岡市としても平成25年度から始まった小型家電の回収事業をとおして、貴重な資源をできるだけ多く回収、リサイクルできるよう支援していく必要がある。

平成 28 年度上半期環境モニタリングの結果について

排ガス中ばいじん等濃度測定結果

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
ばいじん濃度 基準値 0.01g/Nm ³	1号炉	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	2号炉	0.000	0.000	休 炉	休 炉	0.000	0.000
	3号炉	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
硫黄酸化物濃度 基準値 10ppm	1号炉	0.3 (0.8)	0.3 (0.7)	0.2 (1.0)	0.2 (0.4)	0.2 (0.3)	0.5 (0.9)
	2号炉	0.1 (0.5)	0.1 (0.5)	休 炉	休 炉	0.0 (0.2)	0.1 (0.5)
	3号炉	0.1 (0.2)	0.4 (1.1)	0.2 (0.8)	0.1 (0.4)	0.1 (0.3)	0.1 (0.2)
窒素酸化物濃度 基準値 100ppm	1号炉	53.8 (64.8)	57.4 (65.1)	59.5 (66.9)	63.0 (68.9)	64.7 (70.1)	62.6 (65.6)
	2号炉	62.0 (67.6)	62.1 (67.0)	休 炉	休 炉	55.4 (66.5)	61.6 (77.9)
	3号炉	56.1 (64.4)	58.7 (64.3)	58.3 (65.9)	61.5 (69.7)	59.4 (81.9)	55.7 (68.1)
塩化水素濃度 基準値 10ppm	1号炉	4.5 (5.3)	4.7 (5.5)	4.3 (6.7)	3.9 (5.0)	3.8 (4.5)	3.0 (3.3)
	2号炉	4.7 (5.7)	4.8 (5.7)	休 炉	休 炉	3.9 (5.0)	3.7 (5.0)
	3号炉	4.5 (6.1)	3.6 (5.0)	4.5 (6.2)	4.1 (4.9)	3.6 (4.9)	3.5 (4.1)

排ガス中ダイオキシン類濃度測定結果

ダイオキシン類濃度 基準値 0.1ng-TEQ/Nm ³	1号炉	0.0077	平成 28 年 5 月 13 日測定
	2号炉	0.0083	平成 28 年 9 月 16 日測定
	3号炉	0.000039	平成 28 年 7 月 15 日測定

各焼却炉とも安定燃焼が図られ、すべて基準値内の結果となりました。

注1：二段書きの数値は、上段はその月の平均値を示し、下段（括弧書）はその月の1時間値の最高値を示します。

注2：■は、休炉のため稼働日数がその月の半数に満たなかった月を示します。
（「休炉」と記載したものは稼働日数ゼロの月です。）